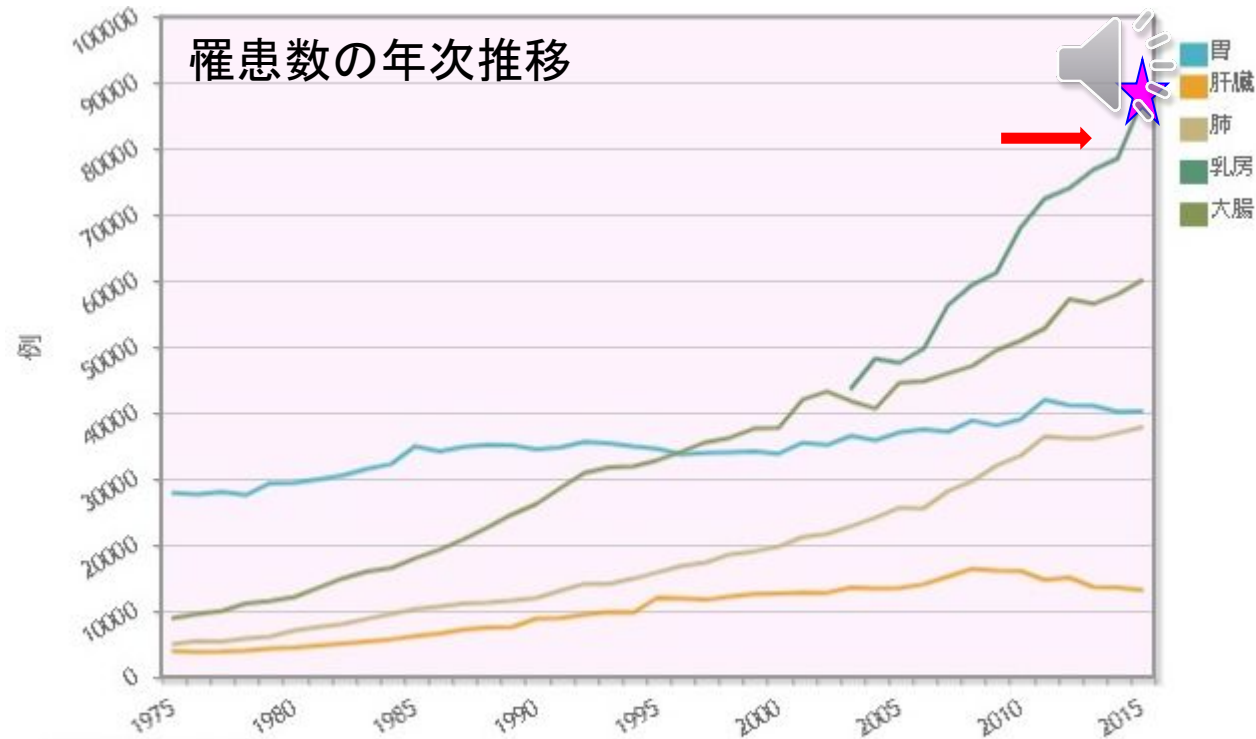


5. 乳がんの疫学 -乳がんにかかる人は増えつつづけている-

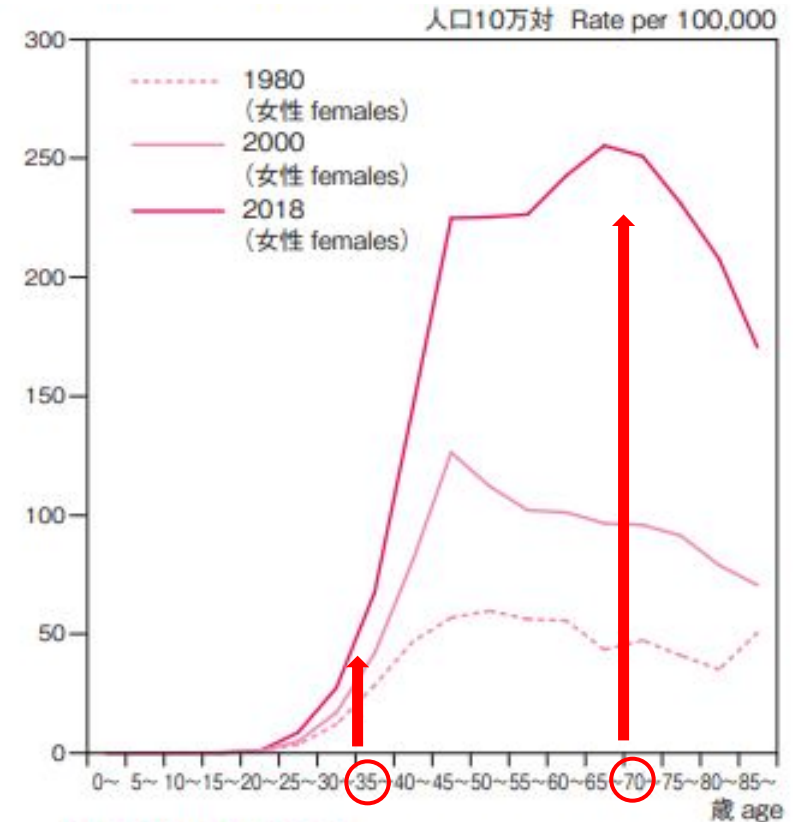
- ・ 女性のかかるがんで最も多く、年々増えています。
- ・ 乳がん罹患数（新たに診断されること）
2019年 97,812人が乳がんと診断されました
- ・ 乳がん累積罹患（生涯で乳がんと診断される）リスク 11.2%
罹患率は30歳代後半から急増し、70歳がピーク（図）

毎日268人の女性が乳がんになり、9人に1人が乳がんになる



資料: 国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

年齢階級別罹患率



注) 1980年は上皮内がん含む。
Note: Incidence rate for 1980 includes carcinoma in situ

5. 乳がんの疫学 -乳がんで亡くなる人も増えつづけている-

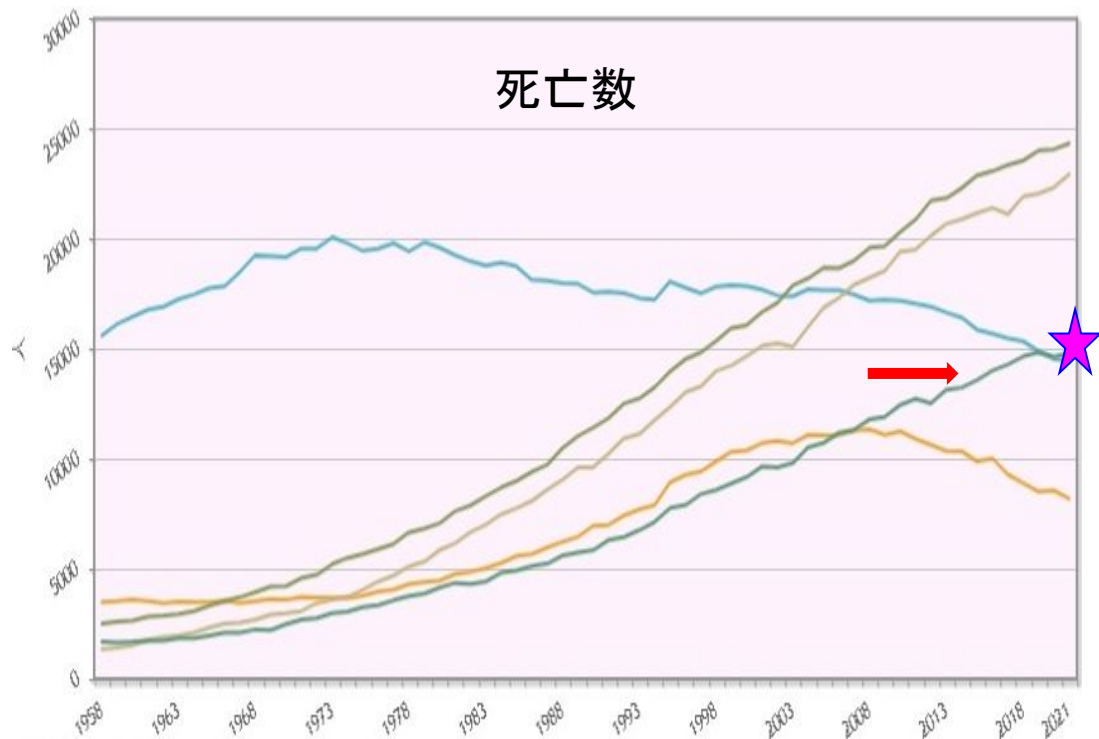
・ 乳がん死亡数

2020年 14,779人が乳がんのために亡くなっています

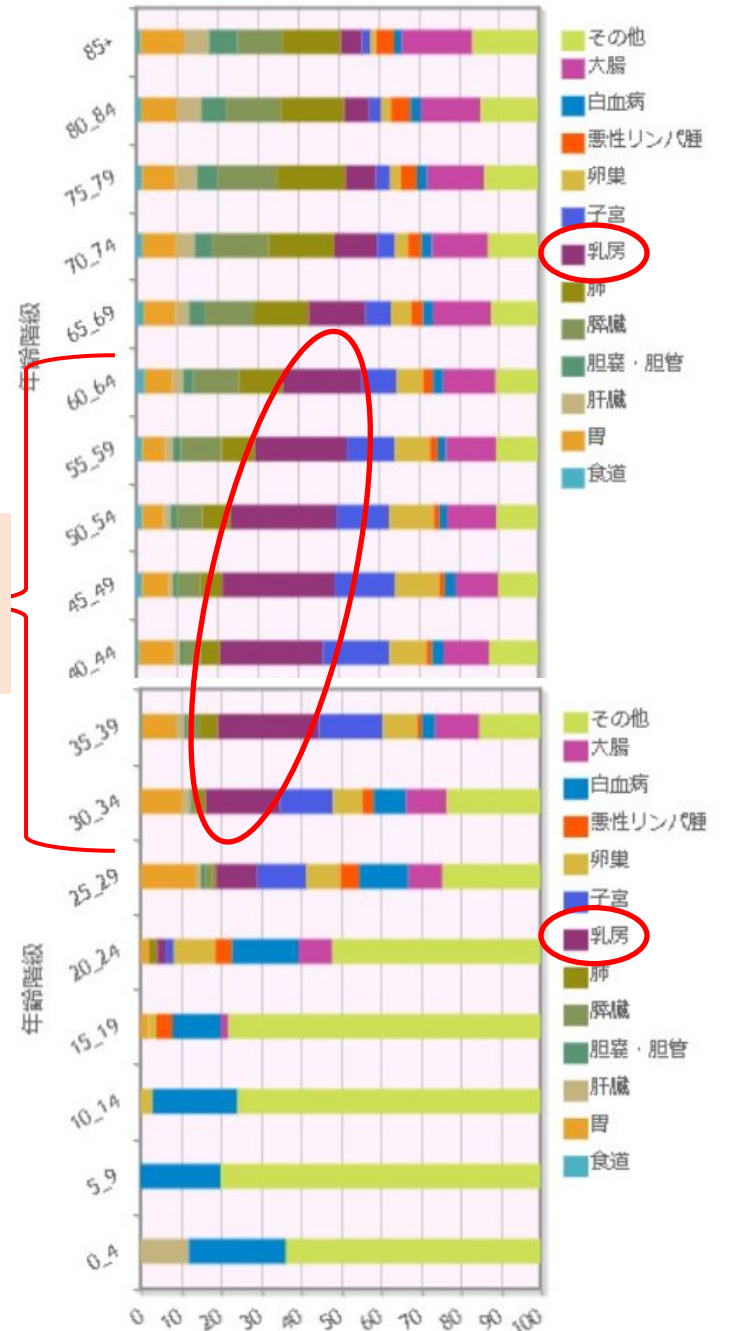
罹患数と同様に死亡数も年々増えており、
女性のがん死亡数では大腸癌、肺癌、膵癌に次いで第4位。



毎日40人がなくなっている

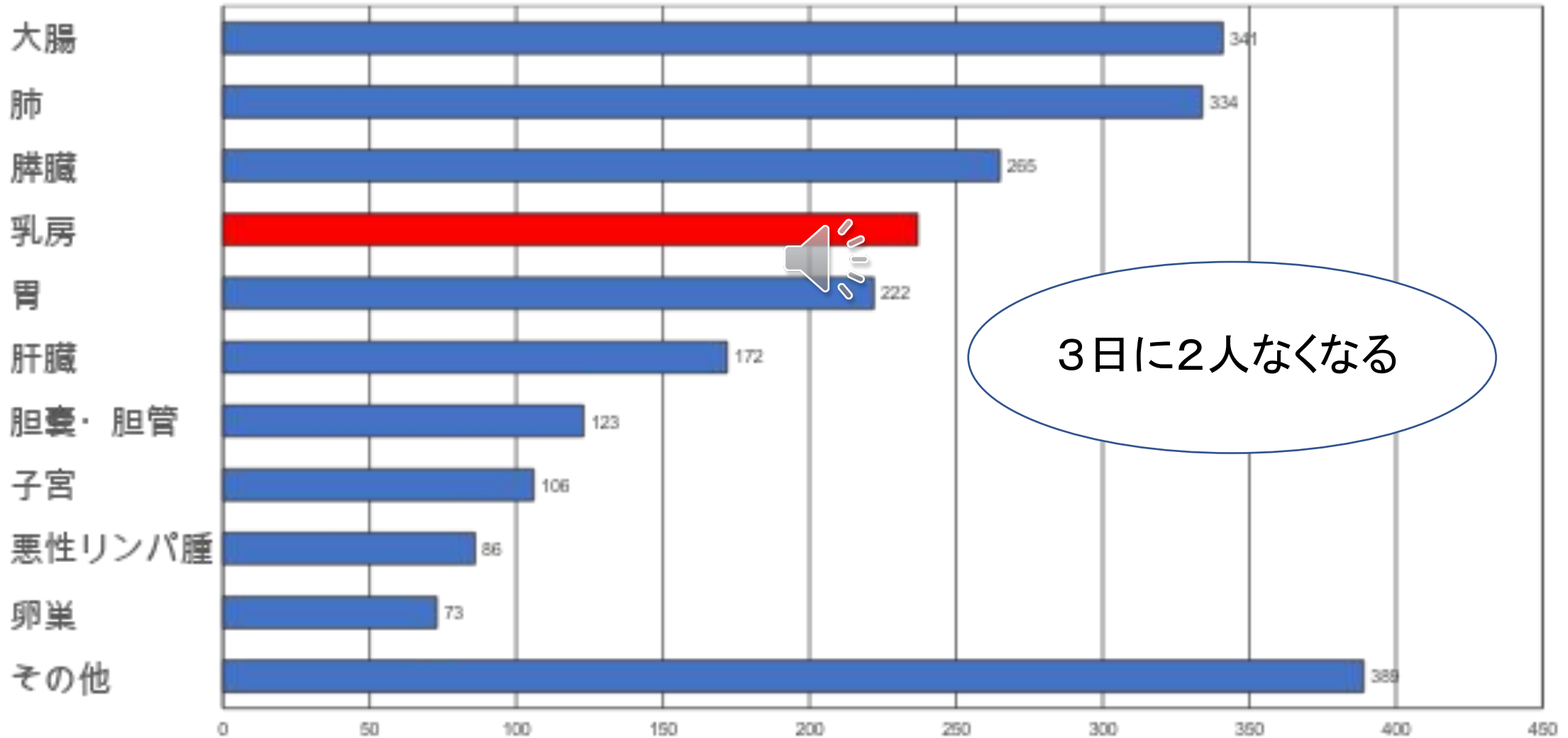


30歳から64歳では死
亡数1位



5. 乳がんの疫学 -死亡数 岡山県の場合-

2018年 岡山県がん部位別死亡数（2367人）



5. 乳がんの疫学 - 国際比較 -

日本の乳がんも年々増えていますが、国際がん研究機関（IARC）が2020年12月に発表した統計によると、乳がんは現在、肺がんを抜いて最も多く診断されているがんとなりました。

しかし、欧米の乳がん死亡率は1985年頃から減少に転じています。マンモグラフィ検診の普及と治療成績の向上によるものと考えられています。

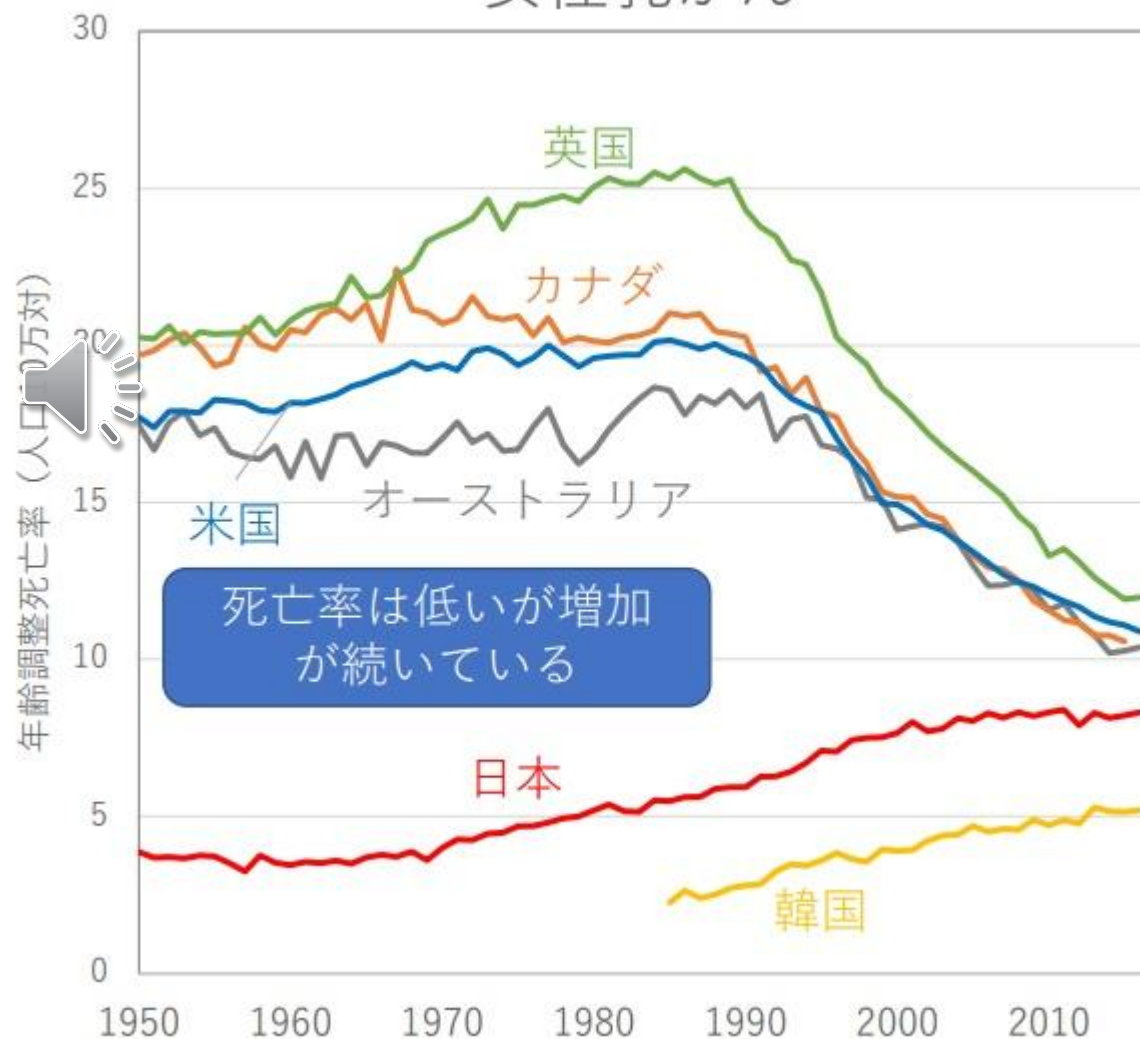
欧米では乳がん検診受診率が50%を超えたあたりから乳がん死亡率が減少に転じています。

一方、日本の乳がん死亡率は欧米と比べて低いものの、欧米と異なり上昇を続けています。

左図：2020年度厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業「がん対策の年齢調整死亡率・罹患率に及ぼす影響に関する研究」より

75歳未満年齢調整死亡率

女性乳がん



出典：WHO Cancer Mortality Database